

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

第 7 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 3 年 10 月 13 日 (水) 午後 4 時 30 分～午後 5 時 30 分
会 場	クロスパルにいがた 4 階 映像ホール
出席者	<p>【社会教育委員】 岡 昌子、小川 崇、角野 仁美、木村 いほ子、雲尾 周、笹川 博人、出頭 久美子、田中 一昭、田中 宏和、山田 久美子 計 10 名 *敬称略</p> <p>【事務局】 本間教育次長、地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館館長補佐、生涯学習センター所長、生涯学習センター所長補佐、生涯学習センター職員 2 名 計 8 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 教育次長あいさつ</p> <p>2 報告事項 (1) ワークショップの実施報告について ○報告資料 1-1 から 1-11 に基づき、9 月 28 日に開催したワークショップに参加しての感想や課題について、各委員が報告を行いました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>3 協議事項 (1) 第 34 期新潟市社会教育委員会議調査・研究報告書について ○協議資料 1 から 3 に基づき、調査・研究報告書の題名、構成、今後のスケジュールの案について、生涯学習センター所長が説明を行いました。 ○題名について「社会教育による次世代育成の検証と推進」を追加案として示しました。 【主な質問・意見等】 ・ワークショップと第 34 期で扱った事例は、小中高校の子どもたちにどうアプローチするかということに集中している。ワークショップにユースアドバイザーが関わるのであれば、青年層の事例もあったほうが良かったのではないか。 ・第 33 期の建議の事例について、その後どうなっているかということも含めてはどうか。 この 2 年間、ほとんど活動ができていないという可能性もある。その中でもどう活動していくか、活動の継続性などを扱う必要があるのではないか。 ⇒事務局より、南区コミュニティ・コーディネーターと Akiha きらきらプロジェクトは活発に活動しているが、そらいろ子ども食堂と YAKKO TE (やっこて) は新型コロナウイルス感染症の影響で活動に制限があることを補足説明しました。 ・ワークショップの事例は、協議資料 1 の (2) のワークショップ各班の活動事例報告に入れると読みやすいと思う。 ・この 2 年間はコロナ禍で全く活動できていないという現状があり、それを踏まえてやっとワークショップができたという現実もあるので、これからのウィズコロナ、アフターコロナという部分も取り上げてはどうか。 ・建議の事例のその後がテーマであれば、報告書の (1) の事例は建議で取り扱</p>

<p>内 容</p>	<p>ったものが中心となるのが良いと思うが、例えば場づくりの分析など、ワークショップで出たテーマを盛り込み検証するのであれば、それに基づく事例があると良いのではと思う。この検証テーマはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場づくりもいろいろなレベルがある。コミュニティ・コーディネーターの講座や、小中学校で子どもたちと社会教育関係者がこんな関わりをしたというも一つの場づくりだが、私が考えるのはどちらかということの中でどうやったら意見を出しやすいかとか、関係が近まるのかという方法論である。どこかに盛り込んでもいいが、タイトルから考えるとどうか。 ・タイトルは良いと思うが、第 33 期の事例の状況についての事務局からの話からすると、「検証」はなかなか難しいのではないかと思う。 ・ワークショップでの事例は、ワークショップにまとめたほうが分かりやすいと思う。 ・ワークショップの取組みは、コロナの緊急提言を除けば、今期の活動の中で恐らく一番大きな活動だったので、それを一つの柱にし、第 33 期の建議については個々の事例ではなく総括的な振り返りという位置づけで、その振り返りを踏まえてワークショップを検討して、こんな方向性が見えてきたという流れもあるのではないかと思う。 ・趣旨が次世代育成についての理解を深め、関係者の活動につなげるとなっているので、第 33 期の建議に出ている事例がコロナでどうなったのかということもきちんと書いてあると、それぞれの活動につながるかと思う。何が課題だったのか、チャレンジしてだめだったのかというものは非常に大事だと思う。第 33 期の事例がどうだったというものをいれるといいと思う。 ・協議資料 1 にワークショップの班ごとのテーマとあるが、山田委員と角野委員の二つの事例に対して、皆さんが抱える課題にヒントになるものはあるかという方向で持っていったように思う。各班のテーマというものはあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒（事務局）テーマがあった班もなかった班もある。最初はどちらかの事例を基に事例案を考えるという話で入ったので、テーマがあれば書いていただき、なければいいと考える。 <p>ワークショップの各班の様子、趣旨などをまとめ、最終的に報告書という形でまとめ、今年度の活動になると考える。</p> <p>昨年度は緊急提言を策定し教育委員と懇談したが、今年はワークショップが大きな活動だったので、それが主の報告書になると考える。</p> ・協議資料 1 の (1) の②、③の事例が 7 つあるが、全てに追加取材というわけにいかないので、1 人ないし 2 人の担当を決めて追加取材し、だめならあきらめるというくらいで書いてはどうかと思う。 <p>南区コミュニティ・コーディネーターは角野委員に、Akiba きらきらプロジェクトは渡邊委員にお願いしたい。</p> ・②と③を全て検証、追加取材してはという話だが、③は今年に活動を紹介していただいたので、今はどうかと聞くのは②でいいのではないかと思う。 ・協議資料 1 の (2) は、(1) の①を入れるということではほぼまとまっていると思う。 <p>今年度のこの委員の活動の中で、③の報告をいただいたということを押さえた上で、昨年、報告いただいたものを多少検証し、それを受けて、次世代育成をどう考えたらいいかということ、様々な関係者に集まっていたきワークショップをした。きれいにこんな結果が出たということではなくていいと思う。こんな意見、アイデアが出たということで最終的にまとめると、何となく形になるかと考えた。</p>
------------	---

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の流れのご提案についていかがか。 ⇒意見等なし。 ・ワークショップ各班に二人ずつ担当が入るが、どちらかが取りまとめ役として、意見をあわせて書いてもらうことになる。執筆担当がどちらになるかお決めいただきたい。 ⇒（事務局）1人ずつで書いていただき、事務局でまとめて、その後、2人で修正していただくほうが良いかを考える。項目は協議資料2で提案させていただいた。 ・そらいろ子ども食堂やYAKKOTEについては、質問の項目をいくつか作ってメールなどでやり取りし、足りなければお尋ねするというやり方ならできるのではないか。 ・新しい題名を考えたが、「社会教育による次世代育成の実践事例と推進方策」という形にして、(1)は実践事例ということで今までの事例や今回見た事例等をその観点から報告しながらまとめ、そして(2)は推進方策ということで、ワークショップという形での推進方策を考えてみたり、例を出すといった形でどうか考えたが、いかがか。 ⇒意見等なし。 <p>○報告書の題名は「社会教育による次世代育成の実践事例と推進方策」としました。</p> <p>○(1)の実践事例で、南区コミュニティ・コーディネーターとAkihaきらきらプロジェクトについては、その後の展開を含めてある程度把握できるということで、角野委員、渡邊委員に執筆いただくこととしました。</p> <p>○第34期の事例は会議で扱った事例をまとめることとしました。</p> <p>第33期のそらいろ子ども食堂とYAKKOTEは、現状について事務局が確認した部分を共有し、その上で追加に聞きたいこと等があれば確認することとしました。</p> <p>全員で資料共有をした上で執筆担当を考えることとしました。</p> <p>○出だしとまとめは、雲尾議長と小川副議長がまとめることとしました。</p> <p>○11月5日までに、グループワークについて協議資料2を作成し、事務局に提出いただくことになりました。</p> <p>4 その他 ○次回会議は、1月下旬に開催することを確認しました。</p> <p>5 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>0名</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第34期新潟市社会教育委員会議（第7回）次第 ・報告資料1-1 ワークショップについて（岡委員） ・報告資料1-2 同上（角野委員） ・報告資料1-3 同上（木村委員） ・報告資料1-4 同上（雲尾委員） ・報告資料1-5 同上（笹川委員） ・報告資料1-6 同上（田中（一）委員） ・報告資料1-7 同上（田中（宏）委員）

第 34 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

	<ul style="list-style-type: none">・報告資料 1-8 同上（山田委員）・報告資料 1-9 同上（渡邊委員）・報告資料 1-10 同上（小川委員）・報告資料 1-11 同上（出頭委員）・協議資料 1 第 3 4 期新潟市社会教育委員会議調査・研究報告書（案）・協議資料 2 第 3 4 期新潟市社会教育委員会議 調査・研究報告書（ワークショップでの検討事例）書式（案）・協議資料 3 第 3 4 期新潟市社会教育委員会議 調査・研究報告書策定スケジュール
--	---